

Origin ソフトウェア

バージョン 2021.21

2022 年 2 月

このリリースのSpectra[®] Geospatial Originソフトウェアには、次の変更が含まれています:

機能強化

LandXM道路の機能強化

- 多数の線形を含んだファイルのマップ読み込み時間が、大幅に改善しました。
- これまで無効だった文字(-\$"/<>?)を含んだ名前の線形がサポートされるようになりました。旧バージョンのソフトウェアでは、これらの文字を一つでも含んだ線形はくひ打ちできませんでした。

座標系データベース更新

Originとともにインストールされた座標系のデータベースには、次の機能強化が含まれています:

- フランスのジオイドモデルRAF20が追加されました。
- 新しいブラジルのジオイドhgeoHNOR2020が追加されました。
- イリノイ州に新しいICS83 LDPゾーンが追加されました。
- ドイツ・ザクセン州に測地系グリッドとゾーンが追加されました。
- Australian Vertical Working Surface(AVWS) のサポートが追加されました。
- 米国HTDP 3.4.0の最新バージョンのサポートが追加されました。
- インドに新しいキネマティック座標系・変位が追加されました。
- メキシコにキネマティック座標系・変位が追加されました。

解決された問題

- データ保存領域の問題: メモリ内に保持されたデータが3秒ごとにディスクに自動書き込みされていたのが、まれに一時停止されることがあった問題を解決しました。データはジョブの終了時点で保存されるため、この一時停止によってデータの損失が起こることはありませんでしたが、もし一時停止中にOriginソフトウェアに予期せぬシャットダウンが発生した場合には、データが損失する可能性があります。このソフトウェアの問題の解決により、ディスクへの自動書き込みの予期せぬ一時停止の発生を防ぎます。

この問題はOriginバージョン2021.10で初めて報告されたため、バージョン**2021.10**以降をインストールされているすべてのお客さまは、バージョン**2021.21**をインストールすることができます。Spectra Geospatialでは、できる限り早期のアップグレードをお勧めします。

- シェープファイルのクラウドへのアップロード: シェープファイルをクラウドにアップロードする際に発生していた問題を解決しました。ジョブの.shp、.shx、および.dbxのファイルのみがアップロードされ、特徴コードのシェープファイルはアップロードされませんでした。解決後は、ジョブの.shp、.shx、および.dbxのファイルと、ジョブに使用された特徴コードもすべてアップロードされるようになりました。
- ヌル値のインポート: ASCIIファイルをインポートする際、ヌル値が誤って?値ではなく0値として表示される問題が解決されました。
- ポイントマネージャ内の写真属性: ポイントマネージャを使用し写真属性が追加された特徴コード付きポイントをレビューする際、写真属性フィールドに写真ファイル名の代わりに?が表示される問題が解決されました。
- **Radio connection to total station on Android:** Connecting to a total station using a radio is now more reliable on Android controllers.
- **GNSS RTK NTRIP** マウントポイントの選択: NTRIPキャスターが初期設定座標位置(0,0)を使用する場合、距離フィールドに値が表示されなくなりました。Originバージョン2021.20から、ソフトウェアが0,0座標までの距離を計算するため、距離フィールドに極めて大きい値が表示される問題が発生していました。
- サードパーティNTRIPキャスターの接続問題: ベーシック認証を行うサードパーティ製NTRIPキャスターに接続する際、キャスターからの予期せぬ応答または応答がないことから、接続を確立していますの進捗バーが20%で停止する問題が解決しました。
- **Chinese subscription use:** To comply with Chinese data regulations concerning the upload of Chinese geospatial data to servers outside of China, Origin now allows sign in with Trimble Identity for use of subscriptions, but prevents use of the Trimble Connect cloud platform if your IP address is determined to be in China.

- アプリケーションエラー: ソフトウェアを使用したり閉じたりする際にアプリケーションエラーを時折発生させる幾つかの問題を修正しました。とりわけ:
 - 光学測量機を使用してぐい打ちする際。
 - デュアルプリズムオフセット測定を地形測定フォーム内で実行する際に、別のタスクに切り替えると、別の目標高を入力することができる。
 - 受信機ファイルのインポートを開始する際。
 - 既に現場キャリブレーションを含んだjxlファイルからジョブをインポートした後、もう一度現場キャリブレーションを適用しようとした際。
 - マップ内に**PlanFeatures**レコードを少なくとも一つ含んだLandXMLファイルを読み込んだ際。
 - Originソフトウェアを再起動した直後のEM120無線機の設定時。

道路

新しい特長

機能強化

LandXM道路の機能強化

- 道路が水平線形のみ、または水平線形と鉛直線形のみから成る場合にメニューを使用してその道路をぐい打ちする際、最初にRXL道路として保存しなくても道路を使用できるようになりました。旧バージョンでは、これらの道路は、RXL道路に変換しなければ使用できない横断面道路として扱われていました。
- メニューを使用して道路をぐい打ちする際、名前の一致で線形を絞り込むフィールドを使用し、名前で見出しリストを絞り込めるようになりました。これは、線形を名前で選択したい場合で、ファイル内に多数の線形が含まれているときに、大変有用です。
- 多数の線形を含んだファイルのマップ読み込み時間が、大幅に改善しました。
- これまで無効だった文字(- \$"/<>?)を含んだ名前の線形がサポートされるようになりました。旧バージョンのソフトウェアでは、これらの文字を一つでも含んだ線形はぐい打ちできませんでした。

解決された問題

- **LandXML開始・終了測点:** LandXML線形の開始・終了測点がマップ内に表示されないため、ぐい打ち対象としてマップ内で選択できないことがある問題が解決しました。

- アプリケーションエラー: ソフトウェアを使用したり閉じたりする際にアプリケーションエラーを時折発生させる幾つかの問題を修正しました。とりわけ:
 - 道路にテンプレートが割り当てられていない場合に、追加ポイントをい打ちしようとした際。

サポートされている機器

Originソフトウェアのバージョン2021.21は、下記のソフトウェアおよびハードウェア製品との通信に最適です。

注意 - 最高のパフォーマンスを維持するため、ハードウェアには常に使用可能な最新のファームウェアをインストールしてください。

サポートされているコントローラ

Windows端末

Originソフトウェアは、以下のWindows®デバイスで実行可能です:

- Spectra GeospatialRanger 7データコレクタ
- Spectra GeospatialST10 または ST100 タブレット

Android端末

Originソフトウェアは、以下のAndroid™端末上で実行されます:

- Spectra GeospatialRanger 5データコレクタ
- Spectra Geospatial MobileMapper 60 ハンドヘルド

少数ですが、Android端末でOriginを使用する際にサポートされていない機能があります。詳しくは、[Originヘルプ](#)内の**Android**デバイスに関するヒントの項をご参照ください。

サポート対象の一般機器

Originを実行中のコントローラに接続可能な従来型機器は以下の通りです:

- Spectra Geospatial FOCUS® 50 トータルステーション
- Spectra Geospatial FOCUS 35/30 トータルステーション
- サポート対象のNikonおよびサードパーティ製 トータルステーション

Originソフトウェア内で使用可能な機能は、接続された機器の型式およびファームウェアバージョンによって異なります。Spectra Geospatialでは、本バージョンのOriginを使用されるに当たって、入手可能な最新のファームウェアに機器をアップデートすることをお勧めします。

サポート対象のGNSS受信機

Originを実行中のコントローラに接続可能なGNSS受信機は、以下の通りです:

注意 - Spectra Geospatial受信機は、他のサポート対象受信機とは異なるGNSSファームウェアを使用することから、Spectra Geospatial使用の際は、Originソフトウェア内の全ての機能が使用できるわけではありません。詳細については、[Spectra Geospatial receiver support in Trimble Access](#) ヘルプを参照してください。

- Spectra Geospatial内蔵GNSS受信機: SP85, SP80, SP60
- Spectra GeospatialモジュラーGNSS受信機: SP90m

注意 - Spectra Geospatial OriginソフトウェアがSpectra GeospatialGNSS受信機と通信する際に使用する通信プロトコルは、Survey Proソフトウェアを使用する同じ受信機のすべての利用可能な特徴には対応していません。詳細については、[SP60, SP80 and SP85 Receiver Support with Spectra Geospatial Origin](#) ヘルプを参照してください。

インストール情報

ライセンス要件

Origin 2021.21のインストールは、コントローラに対して供与された永久ライセンスを使用して行なうか、または個々のユーザに割り当てられた受信契約ライセンスとして行なうことができます。一般測量アプリに対してのほか、使用する各Originアプリに対しても、ライセンスが必要です。

永久ライセンス

永久ライセンスが供与されたサポート対象コントローラにOrigin 2021.21をインストールするには、コントローラ上にXまで有効な**16月 2021年**Origin Software Maintenance Agreementが必要です。

サブスクリプション

永久ライセンスではなくOriginサブスクリプションを使用している場合は、サポートされている任意のコントローラにOrigin 2021.21をインストールできます。

ソフトウェアのサブスクリプションを使用するには:

1. ユーザの組織内のライセンス管理者が、[License Manager webapp](#)を使用してユーザにサブスクリプションを割り当てる必要があります。
2. Originソフトウェアを初めて起動する際、Trimble IDを使用してサインインし、Origin受信契約ライセンスをコントローラにダウンロードする必要があります。それ以外の場合は、サインアウト済みの場合にのみ、サインインするように求めるプロンプトが表示されます。

サインアウトするまで、受信契約はそのコントローラにロックされます。サインアウトしたら、別のコントローラでOriginを実行してサインインし、そのコントローラにサブスクリプションをロックし、ソフトウェアを使用します。

アカウントをお持ちでない場合 ソフトウェアをお試しいただけます

Spectra Geospatial Installation Managerを使用して制限付きデモ版ライセンスを作成し、Windows 10がインストールされたコンピュータ、または対応Android Spectra Geospatial コントローラに、Origin 2021.21をインストールすることができます。

デモライセンスは1件のジョブあたり30点の追加に限定されていますが、他の場所で作成されたそれよりも大きなジョブは開いたりレビューしたりすることが可能です。デモライセンスでは最初の30日間、GNSS受信機やトータルステーションへの接続が可能です。30日後には、マニュアル機器(WindowsおよびAndroid)を使用してトータルステーション測量とGNSS測量(Windowsのみ)をエミュレートできます。

注意 - Origin ライセンスが既に登録されたデバイス上に、Originのデモ版ライセンスを作成することはできません。

さらに詳しい情報は、**To try out software**のトピックをSpectra Geospatial Installation Managerヘルプからお使いのコントローラオペレーティングシステムの箇所をご参照ください。

Spectra Geospatial Installation Managerを使用してのインストールおよびアップグレード

ソフトウェアをコントローラにインストールするには、コントローラのオペレーティングシステムに応じて正しいSpectra Geospatial Installation Managerを使用します。

- Spectra Geospatial Installation Manager Windows用 
- Spectra Geospatial Installation Manager Android用 

Windows コントローラにソフトウェアをインストール

Spectra Geospatial Installation Manager Windows用 をダウンロードし、インストールするには、コントローラをインターネットに接続してから<https://spectrageospatial.com/origin-installation>。

コントローラ上でSpectra Geospatial Installation Managerを実行するには、Windowsタスクバーで検索アイコンをタップし、インストールと入力します。検索結果内のSpectra Geospatial Installation Manager をタップし、Spectra Geospatial Installation Managerを開きます。ソフトウェアを実行する際、最新の変更およびソフトウェアリリースに自動的に更新されます。

Spectra Geospatial Installation Manager Windows用は、必要に応じてインストールまたはアンインストールすることができます。Originソフトウェアには影響しません。

詳しくは、[Spectra Geospatial Installation Manager Windows用 ヘルプ](#)をご参照ください。

Android コントローラにソフトウェアをインストール

Spectra Geospatial Installation Manager Android用は多くの場合、Spectra Geospatial Androidデバイスにあらかじめインストールされています。

Spectra Geospatial Installation Manager Android用 をダウンロードし、インストールするには、コントローラをインターネットに接続して<https://spectrageospatial.com/origin-installation>。

コントローラでSpectra Geospatial Installation Managerを実行するには、Androidのアプリ画面を開き、Spectra Geospatial Installation Manager Android用 アイコンをタップします。ソフトウェアを実行する際、最新の変更およびソフトウェアリリースに自動的に更新されます。

注意 - *Spectra Geospatial Installation Manager Android*用 は必ずコントローラにインストールしたままにしてください。Originソフトウェアを実行するために必要です。

詳しくは、[Spectra Geospatial Installation Manager Android用 ヘルプ](#)をご参照 ください。

オフィスソフトウェアの更新

Originバージョン2021.21のジョブをインポートできるように、オフィスのソフトウェアを更新 する必要がある場合があります。

Survey Officeの必要な全ての更新は、Survey Officeに付属の更新の確認ユーティリティを使用して処理 されます。

ソリューション改善プログラム

Spectra Geospatial Solution Improvement Programは、Spectra Geospatialプログラムの利用方法についてや、発生する可能性のある問題の幾つかについての情報を収集します。Spectra Geospatialは、この情報をもとに、最も頻繁に使用される製品や機能の向上に役立て、問題解決のお手伝いをし、お客様のニーズにお応えします。

プログラムへの参加は、任意で強制ではありません。Solution Improvement Programへの参加・不参加はいつでも変更 できます。変更するには、Originの☰をタップし情報を選択します。法律情報をタップし、ソリューション改善プログラムを選択します。ソリューション改善プログラムに参加するチェックボックスを選択・解除 します。

法的情報

© 2022, Trimble Inc. All rights reserved.

For a complete list of legal notices relating to this product, go to <https://survey.help.spectrageospatial.com/Origin/> and click the **Legal information** link at the bottom of the page.